

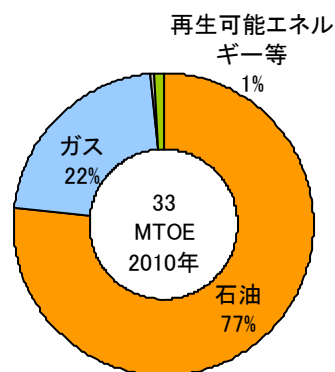
1-14 シンガポール

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量(2010年) : 33 百万 TOE (日本の 0.07 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2010年) : 6.46TOE (日本の 1.79 倍)
- (3) エネルギー自給率(2010年) : 1%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 62.93 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 5.5%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量(2010年) : 12.39CO₂ 換算 ton (日本の 138.1%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011 年末) : 原油 0 年、天然ガス 0 年、石炭 0 年

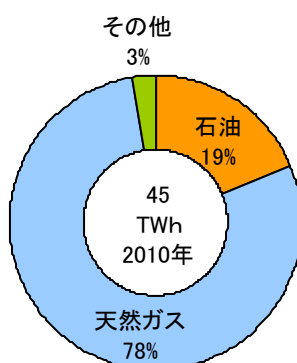
一次エネルギー供給構成 (2010 年)



COUNTRY: Singapore

(出所) IEA 「Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition」

発電電力量構成 (2010 年)



COUNTRY: Singapore

(出所) IEA 「Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition」

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- エネルギー政策の立案・実行機関は通商産業省 (MTI : Ministry of Trade and Industry) である。同省経営資源部が、電力・ガスを含むエネルギー安定供給の確保等を担当する。

(2) 基本政策

- エネルギー市場の競争力強化、一次エネルギー源の多様化および供給源の分散化、エネルギー利用の効率化を重要な政策課題としている。

(3) 最近の動向

- シンガポール政府は 2020 年までに二酸化炭素を 16%削減するという目標の達成に向け、炭素税の導入を検討している。2010 年 2 月に発表された予算の中で、財務省は同国のような小国の場合、コストの掛かる cap and trade より税の方が実用的としている。
- Singapore LNG の実施するシンガポール初の LNG 基地建設に関する EPC 業務が韓国 Samsung C&T Corporation に委託された。EPC 業務の委託額は 6 億 2,800 万\$で、LNG 基地の受入能力は 350 万トン/年、建設完了・稼働開始は 2013 年が計画されている。また、この LNG 基地の建設に伴い、新たに 4 系列のガス輸送パイプラインを敷設する計画がある。LNG 気化ガスを国内の発電所などに供給するものであり、完成は 2013 年 3~4 月を目処としている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- シンガポールは、日本にとって重要な石油製品輸入の供給源の一つである。2011 年におけるわが国のシンガポールからの石油製品輸入量は、ガソリン 23.2 万 KL、ナフサ 27.2 万 KL、灯油 2.4 万 KL、B・C 重油 9.3 万 KL となっている。
- 中部電力は 2012 年 2 月 10 日、BP シンガポールと LNG 購入に関する売買契約の締結を発表した。BP グループが世界各地に保有する LNG 供給源から、BP シンガポールを通じて 2012 年度から 16 年間に亘り、合計約 800 万 ton を購入する。供給源を特定しない LNG 長期購入スキームにより、従来契約に比べ安定性の高い LNG 調達が可能となる¹。
- JX 日鉱日石エネルギー (JX) は 2012 年 2 月 16 日、Shell グループのシンガポール子会社 Shell International Eastern Trading Company (SIETCO) との間で 2015 年から 17 年間、年間 3 カargo (約 20 万 ton/年) の LNG 売買契約 (SPA) 締結を発表した。契約は、Shell グループが権益を保有する複数の供給ソースから LNG が供給されるポートフォリオ契約。SIETCO から供給を受ける LNG は、八戸 LNG ターミナル (2015 年 4 月運転開始予定) と既に操業している水島 LNG ターミナルで受け入れる予定である²。

¹ 中部電力 HP、2012 年 2 月 10 日

² JX 日鉱日石エネルギー HP、2012 年 2 月 16 日

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	33 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	6.46 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.19 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	1 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	62.93 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	12.39 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	0 %
	石油	77 %
	ガス	22 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	1 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	99 %
(9)	石油の輸入依存度	100 %
(10)	輸入原油の中東依存度	— %
(11)	原油輸入先	
	第1位	—
	第2位	—
	第3位	—

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition.
(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition.